

スペース・ノア月刊通信

# 「おりーぶ」

2010年6月1日発行 vol. 33 (一部100円)



「レンゲ畑で」

photo / ©2010SICA

スペース・ノアは、平井雷太さんが開発し、約30年間全国の私塾、公立小中学校、その他各種学校、教育関連施設に導入されてきた「らくだプリント」によって学ぶ場です。

サムエル国際キリスト教学園に導入してから8年目を迎え、学習の基礎力になっています。

幼児から高齢者の方まで、出来るようになりたいという誰にでもある思いに寄りそって見守りながら、自分から学ぶことの楽しさを発見できる場所にしたいと思っています。(西村敬憲)

# 「らくだのやり方でやればいいんだよ」

サムエル国際キリスト教学園（SICA）校長

西大寺キリスト教会牧師 西村敬憲

「らくだのやり方でやればいいんだよ。」算数や数学の勉強の途中でよく生徒にかけることばの一つです。

SICA の小学生は、「学ぼう算数」（数研）という本を全学年で教科書として使っています。なぜかという、この本は自分で勉強を進めていけるような工夫がされているからです。

たとえばそのためには、練習問題に答えと詳しいやり方がのっている必要があります。学校で使っている教科書は、練習問題に答えやとき方がないので、全部先生が教えないければなりません。

「学ぼう算数」ではまず、自分で新しい単元の説明を読んでから例題をやってみます。その時に答えをしおりで隠しておき、わからなければ答えをよく見て考えます。それでもわからないときは、手をあげて先生に聞くのです。

そして練習問題に進む時は、全部やってみたら、自分で解答を見ながら丸つけをして、間違っていたり、わからないものは解説を読んで、もう一度やってみます。

そうやってひとつの単元が終わると、まとめのテストをします。これで8割以上できていれば、次に進めます。出来なければ、何回も繰り返します。

これは、らくだプリントでしていることと同じです。ですから、算数の時間は、それぞれやっていることが違ってきます。どこをどのように学ぶかを自分で決め、丸つけをして、答えを見ながら考える、習っていない新しいことも、まずやってみる、そういうことが、らくだプリントを繰り返し

「自分で丸つけをして、分からなければ、答えを見て考えます。」

ながら、自然に身につけているので、「同じようにすればいいんだよ」と言えば通じるのです。中学生の数学も「体系数学」(数研)を使っていますが、同じやり方です。

らくだプリントで大切なことは、毎日続けていくことです。出来るようになるプロセスを繰り返し経験していくことで、壁にぶつかってもどうしたらいいかを考える力が身につくようになるのです。自分で学ぶことが楽しくなるための一枚、一枚です。



### 自分のために

**「子どもがかわいそうに見えたときが**

**子どもから学ぶことを拒否したとき**

**親の手のなかから**

**子どもがとびたたぬように**

**羽をもぎとり**

**手足までももぎとってしまう」**

**(平井雷太「新・子育て廃業宣言」)**



## エステル・フィーメール・ヴォイス 募集中

☆練習 木曜日12:30~13:30 礼拝堂

☆指導 西村敬憲 小山紀子(二期会)

J-Pop から本格的な合唱曲までだれでも楽しく歌えて気分すっきり。

サムエル国際キリスト教学園(SICA)らくだ学習部門

# スペース・ニア

- 教室日時 毎週火曜日・木曜日 16:00~20:00  
原則週1回ですが、何回来ても会費は同じです
- 教科 算数・数学 国語(漢字) 英語
- 入会金 10,000円(一家族)
- 月会費 10,000円(何教科でも同じです)  
7,000円(幼児 お問い合わせください)  
\*家族で二人目からは、7,000円
- 学習コーディネーター 西村敬憲  
アシスタントコーディネーター 原みはる
- 対象 幼児から何歳の方でもOK
- 申し込み 随時(まずは下記にお問い合わせ下さい)  
いつでもプリントの体験ができます。
- 電話 086-943-7552 西大寺キリスト教会
- 住所 岡山市東区西大寺中野543-2
- E-mail keith\_tijm@yahoo.co.jp
- HP <http://www.samuel-sica.com/>
- らくだメソッドHP <http://www.rakuda-method.com/>  
(平井雷太さんの著作やらくだプリントの情報がいっぱいです。)

